安全保障輸出管理×研究インテグリティ
2つの必須手続の統合と申請業務の一元化

松尾　茉鈴
香川大学地域創生推進部地域連携推進課

1．現状と課題

・安全保障輸出管理（事前確認シート）

申請者（教員等）　紙媒体で作成→　部局等　写し／原紙を送付→　本部（地域連携推進課・国際課）

・研究インテグリティ（個別確認）

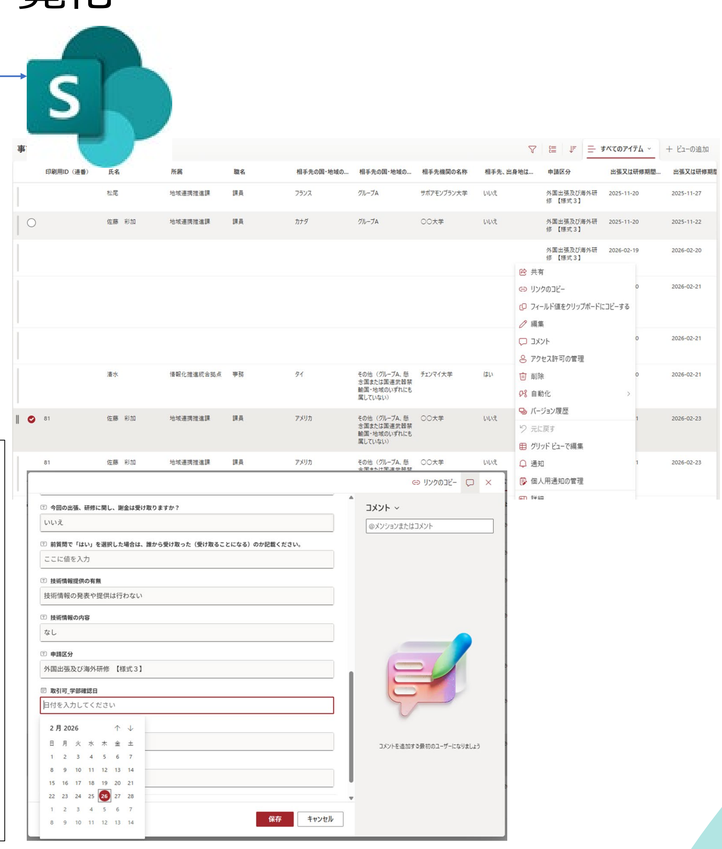
申請者（教員等）　Formsで申請→　部局等／本部（地域連携推進課）

・類似した確認手続が別々に存在
・紙と電子で運用が分かれており、業務が分断されている
→それぞれの申請を一括して行い、合わせて管理できないか

2．システム開発

【申請の一元化】◎ ２つの手続を１つのフォームに統合
・1回の入力で申請可能
・申請内容に応じて設問を出し分け・回答

【自動処理・共有】◎ 申請内容に応じて自動処理・共有
・Power Automateで申請内容ごとに自動分岐
・担当者へ通知
・SharePointで情報を一元管理
・申請状況を一覧化



3．成果・効果

統合後の運用

申請者（教員等）　**統合Formsで申請**→　部局等　決裁完了連絡→　本部（地域連携推進課・国際課）

■全体効果

★**年間約７００件**の申請・確認業務を統合

・地域連携推進課と国際課が連携して構築
・法令対応業務のDXを実現
・部署横断で業務改善を実施

■申請者
・手続負担を軽減
◎２つ別々の手続で１５分
→統合により５～１０分で完了

■事務担当者
・確認作業の効率化
◎二重確認（紙＋Forms）の解消

4．今後の展望

◎現在、運用に向けた担当者向けテストを実施中
→テスト段階で得られた質問・要望を反映し、運用に向けて利用者目線での使いやすさを向上させたい